



# つながり

～瞳かがやき笑顔あふれる中央小～



2024(令和6)年  
5月31日 配信 No.3

## 「レジリエンス」を身に付けるために

道徳教育推進担当 仲川 和磨

現代社会は急速な変化と多様化が進み、子どもたちは多くの挑戦やストレスに直面する機会が増えています。このような状況において、子どもたちの心を豊かにしていくためには、「レジリエンス」という力が必要だと近年よく聞きます。「レジリエンス」とは、困難や逆境に立ち向かい、それを乗り越えるためのしなやかでたくましい力です。心で例えると、感情を無視したり抑え込んだりするのではなく、自分の感情を理解し、受け入れ、それをうまくコントロールすることです。

映画「インサイド・ヘッド」を御覧になったことはありますか。テーマは「感情の役割」です。この映画は、感情の相互作用と、それがどのように主人公の少女の行動や決断に影響を与えるかを描いています。特に印象的なのは、彼女が様々な感情を理解し、受け入れることの重要性が描かれている点です。例えば、悲しみの感情が彼女にとって重要な役割を果たし、新しい環境への適応を助けるシーンなどがその一例です。全ての感情が必要であり、それぞれが彼女を守り、成長させるために存在していることが明らかになります。

私たちの心にも、喜び、悲しみ、怒り、恐れ、驚きといった様々な感情が存在します。どの感情も私たちの人生において重要な役割を果たしています。それを子どもたちが少しずつ理解していけるように、学校では道徳教育を中心に、自分の感情を理解し、適切に表現できるようにしています。

道徳教育の要である道徳の授業では、善悪の判断基準や他者への思いやり、自分自身との向き合い方を学びます。これによって、子どもたちは自分の感情を理解し、適切に対処する方法を身につけます。感情は私たちの内面を映し出し、他者との関係を築くための基盤となります。感情を正しく理解し、表現することができれば、他者への共感や思いやりの心も育まれます。

また、道徳教育は道徳の授業だけに限りません。学校の全ての教育活動が、子どもたちの豊かな心を育むために大切な役割を果たしています。例えば、ふれあい活動や委員会、クラブなどの異学年交流も、他者の感情に対する理解を深めています。異なる意見や感情をもつ友達と協力して課題を解決することで、他者への理解や共感の気持ちが育ったり、感情を適切にコントロールしたりして、円滑な人間関係を築く力へとつながります。これらは、子どもたちが「レジリエンス」を身に付ける貴重な機会となります。

我々教師は、子どもたちが安心して感情を表現できる環境を整え、一人ひとりがもつ可能性を最大限に引き出すための支援を行います。そのために、私たち教師自身も日々学び続け、子どもたちに寄り添うことを大切にしています。その中で、私たち大人も、子どもたちが感じるすべての感情に対して理解を示し、その感情を認めることが大切です。子どもたちが感情を抑え込むのではなく、しっかりと感じ、適切に表現することを教えていきます。全ての教育活動において、子どもの声を聴き、一緒にその感情を探求することをこれからも大切にしていきたいです。

しなやかでたくましい「レジリエンス」を身に付け、子どもたちの心がどんどん豊かになるためにも、家庭と地域、学校が一体となって教育活動をよりよくしていければと考えています。これからも御理解と御協力をよろしくお願いたします。

# 6月行事予定

曜	日	行事
土	1	第56回運動会
日	2	(運動会予備日)
月	3	振替休業日
火	4	学校関係者評価委員会
水	5	2・4年:内科検診 ふれあい活動① 6年生修学旅行説明会(15:30 ~16:30予定)
木	6	1・6年:内科検診
金	7	3・5年・ひ:内科検診
土	8	
日	9	
月	10	委員会④
火	11	札幌教研春の研究集会(午前授 業・給食あり)
水	12	ひまわり学級:校外学習(テレビ 塔)
木	13	家庭教育学級開級式
金	14	
土	15	
日	16	
月	17	北ガスアリーナ(5・4年)
火	18	マット運動週間(3・4年・ひ)
水	19	マット運動週間(3・4年・ひ)
木	20	開校記念日(休業日)
金	21	マット運動週間(3・4年・ひ)
土	22	
日	23	
月	24	クラブ② マット運動週間(3・4年・ひ) 3年3組・5組:校外学習
火	25	マット運動週間(3・4年・ひ)
水	26	マット運動週間(3・4年・ひ) 避難訓練②(水害)
木	27	1・4年・ひ:耳鼻科検診 マット運動週間(3・4年・ひ) 3年2組:校外学習
金	28	JICA交流(1年) 3年1組・4組:校外学習 いじめに関するアンケート配信 開放図書:ミニ講演会
土	29	
日	30	

## 学校評議員の皆様方の紹介

6月4日に学校関係者評価委員会を開催します。今年度の評議員は、以下の5名の皆様をお願いしています。よろしくお願いいたします。

西村 知子様(地域) 大沼 幹夫様(地域)  
丸山 勇一様(地域) 松本 昇陽様(地域)  
猪木 貴子様(児童会館館長)

### \*札幌教研春の研究集会(11日)\*

4時間授業・給食あり・12時55分頃下校

#### 5時間目

・4年3組 授業公開 道徳「心のシーソー」  
・5年3組 授業公開 国語「伝えたいことを整理して報告しよう」  
今年度は中央中とグループを組み、中学校の先生方に授業を見ていただきます。  
※この2学級はいつもより遅く、14:25に下校します。

### \*体罰事故調査委員会について\*

日頃より、本校では適切な指導を心掛けていますが、校内等で体罰事故が発生した場合は、体罰事故調査委員会において、事実関係の解明を行うことになっています。

<体罰事故調査委員会とは>

- ① 事故発生校以外の校長、PTA 役員(元役員を含む)及び第三者からなる委員会です。
- ② 目的は、事故の調査の透明性及び公平性を確保し、事実関係を調査することです。
- ③ 事故が発生した場合は、この委員が教員、児童及び保護者等に話を聞きます。

体罰・性被害相談窓口(札幌市教育委員会)

☎ 272-6034

受付時間帯:平日 10:15~16:45

### \*開校記念日(20日)\*

中央小学校は今年で開校56周年を迎えます。地域、保護者の皆様に教育活動を支えていただいていることに感謝申し上げます。

### \*学校徴収金の引き落としについて\*

1 回目の徴収金の再引落日が**6月7日(金)**となっております。事前に口座の残額を御確認ください。御協力よろしくお願いいたします。

### \*明日は運動会です!

27日(月)に運動会プログラムが配信されております。学年によって開催時間が変わりますので、ご確認ください。

また、入場は体育館西側より行います。大通側(正門とグラウンド出入口)からは入場できません。中央小学校の名札を付け、御家族でまとまった入場をお願いいたします。御理解の程、どうぞよろしくお願いいたします。

## \*春の参観懇談アンケートへの御協力ありがとうございました。

4月の学年参観懇談に足をお運びいただき、ありがとうございました。

<保護者の皆様の御意見・感想の一部から>

- ・子どもたちが楽しそうに授業をしている様子に安心した。
- ・事前に学級代表のアンケートがあったのでよかった。・学校説明の動画は事前に配信でもよかった。
- ・もう少し学級懇談の時間があったほうがいい。・全学年が同日だったので、帰りの玄関が混雑した。

今回いただいた保護者の皆様からの御意見を次年度の計画に生かしていきたいと思っております。アンケートへの御協力、ありがとうございました。

## \*熱中症対策について\*

本校でも熱中症対策や児童の健康管理については十分な注意を払い行っていますが、御家庭でも健康管理への御配慮をよろしくお願いたします。

### 1.生活のあり方について

#### (1)睡眠時間を十分に確保してください。

睡眠不足は、“熱中症”を引き起こしやすく、また、疲労の蓄積、集中力の低下などによってケガなどを誘発させてしまいます。

#### (2)毎日3食の食事を摂ってください。食事を摂らないと、体力が持たずに“熱中症”を引き起こしやすくなります。

#### (3)のどが乾く前に、水分を補給するなど、こまめに補給してください。

### 2.準備するもの

・飲料水 ・帽子 ・タオル(汗拭き、首巻等)

※熱中症対策として、冷感効果のあるタオルタイプのものを持ってきていただいても構いません。うちわやハンディファンなど、手に持つ物、電動の物に関してはお控えいただくようお願いいたします。

### 3.教育活動について

教育活動の実施については、暑さ指数計を用いて周囲の環境を測定して判断していきます。暑さ指数(WBGT)が31以上の場合は、体育や校外での活動を中止します。

資料出典「熱中症環境保健マニュアル 2022」環境省

「札幌市立幼稚園・学校における熱中症対策の参考資料」 R6年2月 札幌市教育委員会

※暑さ指数(WBGT)の単位は気温と同じ摂氏度(°C)で表示されますが、湿度や周囲の熱環境、気温を取り入れた指標です。左列の値は気温ではありませんので御注意ください。

表1-1 暑さ指数(WBGT)に応じた注意事項等

暑さ指数(WBGT)による基準域	注意すべき生活活動の目安 <sup>※1</sup>	日常生活における注意事項 <sup>※1</sup>	熱中症予防運動指針 <sup>※2</sup>
危険 31以上	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
嚴重警戒 28以上 31未満		外出時は炎天下を避け室内では室温の上昇に注意する。	嚴重警戒(激しい運動は中止) 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分を補給する。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
警戒 25以上 28未満	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休憩を取り入れる。	警戒(積極的に休憩) 熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
注意 25未満	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	注意(積極的に水分補給) 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

<sup>※1</sup> 日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.3.1」(2021)

<sup>※2</sup> 日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019)